

「建交労とうきょう」はい  
つでもみなさまからの記事  
や写真を待っています。  
(メール) tohonbukenkouro@sm  
ile.odn.ne.jp  
ホームページ  
<http://www.kenkouro.com/>

建交労

# STG・とうきょう

建交労 東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03(3820)8644(代)  
fax 03(3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる(税込60円)

12月5日(日) 東京トラック

## 建交労 東京都本部22春闘討論集会開催

健保会館にて、建交労東京都本部22春闘討論集会を開催し37名が参加しました。石塚副委員長による開会あいさつと座長就任を経て、松田委員長より主催者挨拶がありました。続いて、建交労東京顧問弁護士である笹山尚人弁護士より「労働法制改悪阻止を目指して・労働法の力・今こそ労働組合の出番」と題した記念講演が行われました。解雇の金銭解決合法化や裁量労働制の対象拡大、労働者の業務委託・個人事業主化など、政府が推進しようとしている労働法制改悪の動きに触れ、労働組合として当面は、現状の労働法制を

守り、非正規雇用に関する差別禁止の実現と、真実の同一労働同一賃金を確立し、誰もが人間らしく働き暮らせる雇用・社会を目指す運動の必要性を訴える内容でした。

その後、都本部22春闘方針第一次案を提起しました。建交労東京には、トラック・バス・ゴミ収集車運転手、鉄道関連職員、公園清掃員、ビルメン、学童指導員、介護士など緊急時代宣言下においても通常業務を行い、ライフラインを維持してきたエッセンシャルワーカーの仲間が多く加盟しています。その社会的役割に相応しい賃金と待遇を求める運動と共に、コロナによって業務縮小や休業に

追い込まれた労働者を守り、中小企業へのコロナ対策支援や、雇用調整助成金特例処置の縮小を阻止する運動を昨年に引き続いでの春闘課題としてとりくむこと、その他、要求提出日などのスケジュール、22春闘統一要求基準等について提案しました。全体討論で5つの組織より来春闘に向けた決意表明があり、清水副委員長による閉会挨拶、松田委員長による団結がんばろうで終了しました。

建築設計支部いしづえ分会の「ろくしん要(かなめ)」さんによう三線の生演奏でスタート。いしづえ分会の金田正夫工学博士が、中野周辺の木造密集住宅街を引き

う会の華やかな演奏で締めくくりました。参加頂いた仲間の皆さん、準備した仲間の皆さんありがとうございました!【東京建設・関連部会事務局長 笹原 和樹】

開会挨拶をする松田執行委員長

講師の笹山弁護士(東京法律事務所)

コロナ禍に負けない! 東京建設・関連部会  
宣伝行動 in 中野駅前北口 (東京都本部主催)



適正な業務報酬の実現、長時間労働の是正など、建設・関連の職種で働く仲間の労働実態の紹介と改善に向け、労働組合への結集を訴えました!

「建設関連の職場で働く仲間の労働条件改善を!」をメインスロー

ガンに、東京建設・関連部会は、

12月1日(水)、JR中野駅北

京都本部の仲間の他、中野労連副

議長や年金者組合支部長、建交労

中央本部の仲間が駆けつけ、全体

で12名、約300枚のチラシ入

りティッシュを配布しました。

建築設計支部いしづえ分会の

「ろくしん要(かなめ)」さんによ

りました。参加頂いた仲間の皆さ

ん、準備した仲間の皆さんありが

とうございました!【東京建設・

関連部会事務局長 笹原 和樹】

合いで、耐震防火の補助金の仕組みを説明。地球環境保護や、建築士・職人の仕事確保の観点か

ら活用を訴えました。また、ゼネ

コンやコンサル、ビルメンテナン

ス、マンション管理の分野から、

仲間がそれぞれの業界の課題や低

賃金、長時間労働などの実態を訴

え、労働組合加盟を呼びかけまし

た。エンディングは「わりかん歌

## 22春闘討論集会 質疑・討論

## 2年春闘討



座長 石塚副委員長



議案提案 遠藤書記長

トを活用しながら全国オルグ行う予定。建交労や業界の様子を発信し身近な問題としてアンケートに回答してもらうよう工夫。賃金制度を自ら作成・提案し能動的活動に。組織推進委員会で40名の拡大目標を設定。職場単位の分会が最重要と位置付け組合員が積極的に参加出来る分會を目指し、分会運営マニュアルを11月から運用している。

になつてゐる。会社に3労組があり労働協約のほとんどは建交ながら労働者の要求を前進させてきた。3労組の共闘を目指している。アンケートは職場の三分の2が回答。結果とお礼を組合掲示板に掲載している。団体交渉で繰返し話し合つて来た事が会社との信頼関係構築に。要求で一人でも多く団結を目指す

11月10日（水）建交労東京建設・関連部会は第23回定期総会を開催し、建築設計、

12月1日に中野で開催した宣伝は、今後に繋がる有意義な行動となりました。リモート会議が一般化している今日について、直に会えないデメリットだけでなく全国の学習会等に気軽

建設関連業界の労働条件改善を目指す  
に参加出来るなどメリットを活用。今後も活用することを確  
かし、今度も、ゼネコン監督の認。今年度も、週休2日制（4週8閉所）の実現や建築設計事務所で働く設計士の適正な業務報酬の実現、コンサル業界で働く技術者の残業時間の軽減、ビルメンやマンション管理業界で働く仲間の労働条件改善に向け、建設首都圏共闘会議や生公連との連携を深め奮

めてのリモート開催に、主催国の日本は全労連や国交労組等が準備に追われた。建交労からは中央本部廣瀬書記長、福富書記次長が主催者として出席。全国建設・関連部会から筆原が参加した。キプロス、インド、パキスタン、バングラデッシュ、ベトナム、ウルグアイ、ガボン、ポルトガルの労働組合役員が各国における建設労働者の現状を報告。移動労働者の劣悪な労働環境など深刻な発言が続く中、来年2022年にW杯開催が決まっているキプロスから

開催する決意です。総会後約1年  
ぶりに開催した交流会は、仲間  
と顔を合わせて交流する良さを  
改めて実感するひと時でした。  
また1年団結して頑張りましょ  
う！【東京建設・関連部会】  
事務局長 笹原 和樹

の報告は、サッカーホームの建設現場で約7000人の労働者が亡くなっているという衝撃的なものだった。未だ世界では多くの建設労働者が無残な死を遂げている。世界中の全ての労働者が幸せな年末年始を迎える事が出来るその時まで世界の労働組合と手を取り合いたたかう決意です。

## 組合揭示板

- 1月 8日（土）10時～都本部第4回執行委員会／江東区文化センター（東陽町駅）
  - 1月13日（木）11時～22春闘闘争宣言行動（丸の内仲通りデモ経団連前行動）／厚労省前スタート
  - 1月26日（水）19時～21国民春闘総決起集会／なかのゼロホール（中野駅）
  - 1月29日（土）～30日（日）建交労第23回中央委員会／群馬磯部ガーデン
  - 2月6日（日）13時半～第27回建交労都本部委員会／ラパスホール（大塚駅）

～新型コロナについての相談・情報は  
都本部までお寄せ下さい～  
**建交労東京都本部**  
**☎03-3820-8644**  
**✉tohonbukenkouro@smile.od**  
e.co.jp

12月1日に中野で開催した宣傳は、今後に繋がる有意義な

◆建築インター・アジア太平洋セミナー  
U-TBB11月13日～14日